スポーツ推進委員会通信

ふれ愛

第 17 号
平成29年
4月発行

発行
津市スポーツ推進委員会
広報部会

第64回 東海四県スポーツ推進委員研究大会
三 重 大 会

と　き　平成２９年　２月　３日（金）　４日（土）

ところ　全体会　三重県営サンアリーナ　第１分科会　阿児アリーナ「オーシャンホール」
第２分科会　阿児アリーナ「ベイホール」
第３分科会　賢島宝生苑　「華陽の間」

東海四県スポーツ推進委員により、地域における生涯スポーツ振興の実践活動について研究協議し、スポーツ推進委員としての資質の向上及び会員の交流を図り、研究大会の参加者が相互に意見交換を図る目的で第64回東海四県スポーツ推進委員研究大会（三重大会）が開催されました。

今大会の主題は、「スポーツ推進委員が創るこれからの地域スポーツ」が掲げられ２月３日（全体会）、４日（分科会）の２日間の本大会に津市スポーツ推進委員43名が参加し熱心に研究協議を行いました。

第64回大会は三重県スポーツ推進委員協議会が主管となるため、津市スポーツ推進委員会より女性推進委員（小黒委員）が開会式の司会進行に協力されました。
また、開会式においては、「スポーツ推進委員功労者表彰」を６名の津市スポーツ推進委員の方が受賞されました。

開会式後の講演では５年後の～三重とこわか国体・全国障がい者スポーツ大会とスポーツ推進委員との関わりについて～のテーマにて、１名のコーディネーターと分野に分かれた４名のパネリストによるパネルディスカッションが行われ熱気あるディスカッションに会場のスポーツ推進委員の皆さんも昨今のスポーツ環境を数字などで示されるごとに認識を新たに今後の取り組むべきターゲットの一つになったのではと確信しました。２日目の分科会による研究討議には第１、第３分科会に参加し活発な意見交換を行いました。

第１分科会に参加して思うこと

高野尾地区　大江　裕二

皆さんは、「総合型地域スポーツクラブ」（以下「総合型クラブ」という）ってどの程度知っていますか？

自分は津市スポーツ推進委員を委嘱されてから４期目ですが、「（総合型クラブ）名前は聞いたことあるけど実態はようわからん」という程度でした。

今回伊勢志摩で行われた第６４回東海四県スポーツ推進委員研究大会、第一分科会のテーマは「総合型地域スポーツクラブとスポーツ推進委員の関わり」というテーマでした。発表は四日市の「スポーツクラブさんさん」というところで、驚いたことに発表者は当クラブのマネージャーであり、東海四県スポーツ推進委員連絡協議会長の馬場さんでした。

今回の分科会を機に「総合型クラブ」について少しだけ調べてみました。yahoo! japanで調べてみると次の説明がすぐ出てきました。

【総合型地域スポーツクラブ】総合型地域スポーツクラブとは、日本における生涯スポーツ社会の実現を掲げて、１９９５年より文部科学省が実施するスポーツ振興策の一つで、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する、地域密着型のスポーツクラブをいう。

２０年以上も前から国家プロジェクトともいえる形で全国的に展開しており、平成２７年度現在準備中を含め全国で３５５０、三重県内で６４、津市内で８団体が活動しています。自分は、高野尾地区において４年前に「たかのおニュースポーツ教室」を立ち上げ、ファミリーバドミントン、ドッヂビーを中心に毎週水曜日に活動を行っていますが、毎週それなりに人数は集まりますが、種目が限られ、「卓球やりたい」とか「幼児もやれることありますか？」という声があったり、「子どもからお年寄りまで」とは言いつつもなかなか限られた年齢層しか参加できなかったり、いろいろと課題はあり、総合型クラブの存在と活動を目の当たりにして、自分のやれることはもっとないかな？次はどんなステップアップでどんなステージを目指したらよいのかなと考え始めたところです。

今回の四日市市の発表を見て、素晴らしい活動だな、さすが馬場さんだなという、感想を持ちました。ただ、残念に思ったのは発表されているのが馬場さんだけで横に座っている各部会の「部会長さんの発表」及び「関わっている人たちの生の声を聴きたかったな」という思いが残りました。加えて入会、利用している人たちの声ももっと聴きたいなと思いました。このクラブに入会して何がよいのか？もっとよくしていくには何を望むのか？きっとたくさんの声があると思うし、事務局にも届いていると思うので機会があったら聞いてみたいと思います。

２０２０年には東京オリンピック、来年２０１８年には全国高等学校総合体育大会、全国中学校総合体育大会、２０２１年夏には「三重とこわか国体」を控えている私たち津市スポーツ推進委員が今やれること、やったらよいことはたくさんあると思います。目前の課題も多くありますが、まずは広く世界に目を向けて自分達の置かれている立場、現状をしっかり理解し、大きな視野に立ったうえで自分たちの活動を根本から考え、中長期的な計画を持ちながら足元からの活動を力強くダイナミックに進めていきたいと思いました。

第３分科会に参加して

豊が丘地区　佐伯　龍一郎

「子どもの体力向上を図る取組」について

「子どもの体力向上を図る取組」について、鈴鹿市若松地区の総合型地域スポーツクラブ「若松Ｊｒ.ふれあいクラブ」の発表がありました。

主な内容は次の３項目です。

１：地域の紹介

地域の人口は6,500人、2700世帯、小学校児童数356名、クラブ加入数36名で児童の約１割が加入しているとのこと。

２：設立とその趣旨、目的

「地域の子どもを地域で支える」との考え方のもと、平成15年4月26日に設立されたこと。その趣旨、目的は子どもたちをスポーツ、文化活動、奉仕活動等を通じて強く、たくましく、元気で思いやりのある子どもたちを育むべく、家庭、学校、地域社会が協力して実施すること。そして、この活動により、地域のコミュニケーションの輪を拡大していくこと。

３：事業・活動内容

ファミリーバドミントン等のスポーツや茶道、海岸清掃奉仕などの活動で、会員が家族のように交流していること。また、子どもたちが事業・活動内容に自ら考え、計画し運営にも参画していること。

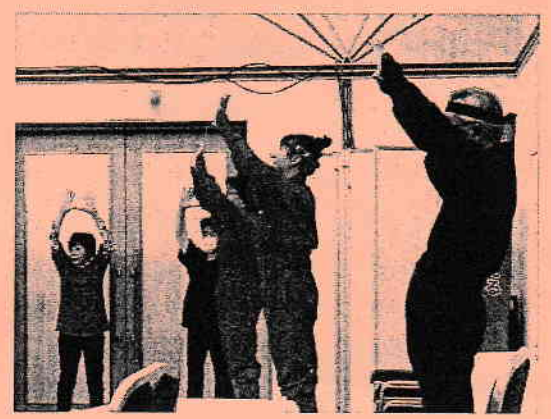
この発表内容について、いくつかの質問がありました。主な質問は次の３つです。

①設立されてから14年になりますが会員が少ないのではないでしょうか、又、増やすための対策は・・？

②活動したくてもいろんな事情で参加できない子どもたちへの対策は？

③活動を支える地域の大人たちはどのような方々なのですか・・？

この質問への回答は「地道な努力の継続が大切」と語っていたように受け止めました。私は「クラブの収支内容に」について質問したかったのですが時間切れでできませんでした。



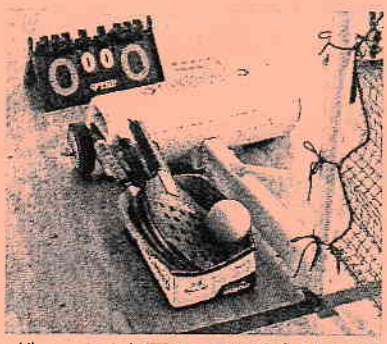
この後、伊賀市の推進委員のみなさんのリードで「忍者の動きと精神を取り入れた独自の体操」“忍にん体操”を全員で楽しく行いました。全国に拡大中とのことでした！（参加者は400名）

最後に第３分科会の助言者の方から、発表者へのコメントがありましたが印象に残る助言はありませんでしたので割愛させていただきます。

今回の研修会にはじめて参加させていただきましたが、規模の大きさ、充実した内容、宿泊先のすばらしさ、そしてなによりも「津市スポーツ推進委員」の皆様との楽しいコミュニケーションが一番印象に残る出来事でした。次回も是非参加したいと思っています。

平成28年度 三重県スポーツ推進委員研修会　第１事業部会（女性部会）

一志ブロック　藤岡　三枝子



三重県スポーツ推進委員会研修会が１０月１５日（土）三重交通Ｇスポーツの杜鈴鹿体育館で開催されました。

１部は「３６５日の紙飛行機」「栄光の橋」の曲に合わせて女性部会の人達によるパワフル健康体操を研修しました。

２部では四日市スポーツ推進委員の皆さんの指導による「テニポン」の実技競技を１２０名の参加者が８コートに分かれ３試合づつ行いました。この競技はバドミントンコートを使用しネットの高さは７５ｃｍと低めです。ボールは柔らかく軽いボールです。テニス経験のある私は簡単と考えてましたが、ガットと木の板のラケットの違いもあり、時々大きく外れることもあり、楽しい実技研修でした。

体験コーナでは、スカットボール（伊勢市）Ｃ・Ｃリング（松阪市）フライングデスク（鳥羽市）があり、テニポンの試合のないときに体験することができました。津市スポーツ推進委員の参加者は１４名と少なかったです。

毎年、女性部代表の人達が新しいニュースポーツを選定し研修会を開催しています。平成２９年度は県スポーツ推進委員研修大会は津市が担当となります。津市からのニュースポーツを考えてみませんか。皆さんの積極的なご協力と研修会への参加をお願いします。

～ 津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル ～　2016年11月06日　津市体育館

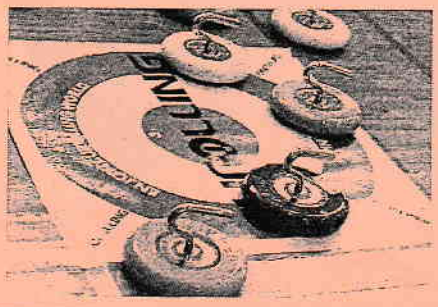
あなたが主役！来て！観て！さわって！楽しんで！ ニュースポーツ体験

ニュースポーツを楽しめる機会を提供し、市民のみなさまの健康増進と相互の交流・親睦を図り、健康な市民生活に寄与する目的で今回で２度目の「ニュースポーツ体験」が開催されました。開催に際しては、前日(11/5)に実行委員（１３名）にて会場の準備を実施し当日に備えました。

当日の体験種目は２種目（カローリング、タスポニー）と紹介＆体験種目として「ヘルスバレーボール」が準備され、参加者は私達スポーツ推進委員含めて総数７６名の参加により開催されました。準備体操終了後、２種目に分かれてそれぞれ１時間ぐらい体験競技を満喫し、体験する度に惜しい、上手い、凄い等一投一打に応援の拍手と歓声が飛び通い熱気ある会場の雰囲気でした。

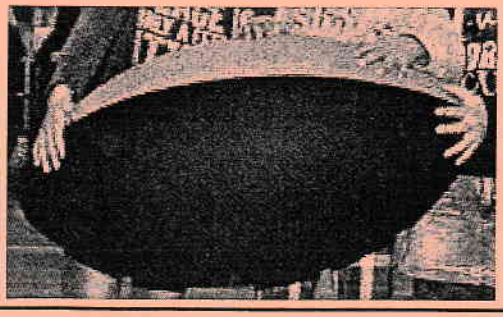
体験種目終了後は参加者全員に新種目の「ヘルスバレーボール」をスポーツ推進委員がデモストレーション競技として実施し、その後、参加者のみなさんによる体験競技を実施しました。普段のバレーボールとは全く異なりボールが予測不能？な動きをするため、みなさん興味津々（四苦八苦）で競技に取り組んでいました。

カローリング



タスポニー

ヘルスバレーボール



全国スポーツ推進委員研究協議会に参加して

一志ブロック　小　坂　　勝

第57回 全国スポーツ推進委員研究協議会が（11/17～18）福井県の越前、鯖江の２市で開催され、全国各地より役員、委員並びに関係団体の方など総勢3,300人が参加し熱気に包まれました。

開会式後の表彰式では、「文部科学大臣表彰」「全国スポーツ推進委員連合表彰」「全国スポーツ推進委員連合感謝状」の表彰と共に私達が受賞対象となる「30年勤続スポーツ推進委員感謝状」が全国スポーツ推進委員連合副会長より受賞者を代表して馬場　宏氏（三重県スポーツ推進委員協議会長）に授与されました。

【第１日目の講演】では、演題「スポーツに学ぶコミュニケーション」～元気・活気・勇気・を与えるトーク術～について、日本ペップトーク普及協会会長：岩崎良純氏のプロや実業団、企業、オリンピックチームの帯同経験の体験談を交えながらの講演を傾聴しました。内容は、競技選手に対して「ネガティブなイメージはネガティブな結果を」「ポジティブなイメージはポジティブな結果」を引き寄せる。「ペップトーク」とは、大事な本番前に指導者が選手や生徒にかける「前向きな励ましの言葉」「短い激励のメッセージ」です。大変参考になる講演でした。

続いてシンポジウムでは、テーマとして「スポーツがもたらす明るく元気な未来への創造」をテーマに全国的なスポーツ分野の学識経験者４名により実施され、「スポーツの現状と問題点」を提言されました。

【第２日目の分科会】は第４分科会を選択しました。この分科会では福岡市、福井市、世界ゆるスポーツ協会の３代表より研究発表がされました。福岡市の発表は「バスタボーで体を動かさない人へのアプローチと競技人口の開拓」と題しニュースポーツを開発・運用・効果の発表で、バスタオルとバレーボールやドッチボール等と組み合わせバドミントンダブルスコートでゲームするスポーツでした。福井市の発表は「福井発祥スティックリング普及の最初の一歩」のテーマを掲げ、福井市は「冬場は雪が降るとマレットゴルフなどが出来ない」ハンディがあるので、それに代わるものとして木製パックとスティックを組み合わせた「スティックリング」を開発し、用具は廃材、廃物を活用し改良を重ね、屋内でも競技が可能なスポーツを開発した。

世界ゆるスポーツ協会の発表は、「スポーツ弱者を世界からなくす･･･ゆるスポーツの挑戦」を掲げ、昔から運動音痴、生まれながらの障がい者の人達が社会で「スポーツを楽しむ」事が難しいのであればと考えたのが「ゆるスポーツ」で、定義として、「年齢、性別、運動神経、障がいの有無にかかわらず、誰もが笑いながら楽しめるスポーツ」・・「老若男女健障スポーツ」です。種目は、現在11種目で次々と生み出しており、目標は運動音痴の方や障がいを持った方等「スポーツ弱者」がスポーツを楽しむ環境を創出するとの発表でした。

～参加感想～

・三重県からも主な市が参加していた（参加者数／全委員数　単位:名）

四日市(23/76)、鈴鹿(8/61)、亀山(1/28)、桑名(6/40)、伊賀(3/78)、松阪(12/60)、伊勢(2/61)、いなべ(3/17)、名張(5/30)、津(7/121)

・全国レベルの著名人・アスリート等の講演が傾聴できる。

・参加することにより、私達、津市の取組状況と比較できる

・津市は現状ニュースポーツや健康体操等の開発がなくブームに乗っていない

ブロックだより

津 ブロック

◆平成28年度 津市ファミリーバドミントン大会◆

ブロック長　林　裕行

平成２８年度の津ブロック事業として、平成２９年２月２６日（日）に津市体育館で「平成２８年度　津市ファミリーバドミントン大会」を開催いたしました。

今年度は、４２チーム（１５０名）が参加し、８コートに分かれ３試合のリーグ戦を行い、各コートの１位、２位による１６チームで決勝トーナメントを行い、上位４チームの順位を決定して、優勝、準優勝、３位、敢闘賞のチームを表彰しました。

津ブロックでは、市民の皆様にスポーツをする機会を提供させていただき、チームの交流、相互の親睦を深めていただこうと、競技スポーツの大会を毎年開催しています。選手の皆様には、１年の練習の成果を発揮していただく機会となりますが、私たちスポーツ推進委員にとりましても、審判技術の向上、スポーツ推進委員の資質向上に向けた研修の成果を発揮する機会となります。

私たちスポーツ推進委員も大会を通じて選手の皆様と親しく交流させていただくことができ、充実した１日を過ごすことができました。最後に、大会開催に向けご尽力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

尚、大会成績は下記の通りです。

優　勝：安東Ｂチーム（安東地区）
準優勝：安東Ｃチーム（安東地区）
三　位：チームＲ・Ｕ（櫛形地区）
敢闘賞：北立誠Ａチーム（北立誠地区）

安芸ブロック

◆明地区グラウンド・ゴルフ大会◆

平成２９年３月４日（土）：津市芸濃グラウンド

明地区体育振興会

大会当日、春の日差しに恵まれ、子どもから高齢者まで８０名の参加によりグラウンドに設定された２コートで開催しました。

当日に発表される組み合わせに和気あいあいの笑顔が飛び交いながらプレーが始まりました。日頃の練習の成果を発揮する人、また、初めてクラブに触る人、それぞれが楽しまれ、ホールインワンをされる人も多く嬉しそうな声がグラウンドに響いていました。

これからも、色々なスポーツを生涯スポーツとして普及・振興出来るように地域の皆さんと頑張っていきたいと思ってます。

久居ブロック

◆ 久居ブロック　交流会 ◆

平成２９年２月１２日（日）久居にある市営球場にて久居ブロック交流試合としてグラウンド・ゴルフ大会が開催されました。毎年１０月に開催される大会ですが天候が悪く延期となり、「何とか今年度も実施したい」という皆の思いで調整してきました。

前日は雪も降る大荒れの天気でしたが、大会当日は晴れとなり、会場に来る途中、きれいな雪化粧した青山高原を眺めることもできました。日程ずれ込みの影響もあり、昨年と比べ参加人数は若干少なかったものの、111名にて競い、今年度から作成した優勝トロフィー、６位までの表彰を目指しプレイヤーの真剣味が伝わってきました。コースは２４ホールで競い、優勝者はホールインワン３回、スコアー４９の好成績でした。

競技終了後のラッキー抽選会もあり、大会参加者が全員が笑顔で過ごせ、大会も盛り上がりを見せました。今後においても、この大会は続けていく意味のあるものだと実感しました。

一志ブロック

◆ 歩こう会／美杉地区 ◆

平成２８年１２月４日ＪＲ一志駅発午前９：５６分歩こう会参加者総勢６８名（一般男性２０名、女性３４名、スタッフ１４名）を乗せた名松線列車は紅葉残る里山を背に一路雲出川沿いに伊勢鎌倉駅にゆっくりと向かった。天候は予想に反して良く，車窓からの眺望も、平行して通る県道から見る景色と少し違って、参加の皆様にはその風情に満足気であったようです。

笑顔の美杉地区推進委員に歓迎され伊勢鎌倉駅に到着した。その場で役員よりコースの説明等を受け、本日の案内人の大日川さんによる先導で美杉八知地区のウォークの開始です。途中不動寺に参拝し歴史と沿革について熱意あるガイドを受け郷（さと）の古（いにしえ）を偲ぶことができ満足でした。残る紅葉を楽しみつつ約６ｋｍ地点の小西公民館到着で大休憩です。各自持参のお昼に合わせ、役員さん準備の豚汁が全員に振る舞われ大好評でした。１３時過ぎ小西公民館を後に仲山神社経由伊勢八知駅まで（８ｋｍ）を完歩し壮快な顔を見ることができた。ここでの役員さんによる一杯の「おしるこ」による【おもてなし】は参加者皆様に最高の心温まる一杯でした。健康志向で始まったウォーキングブームも近年は、人と人との交流を深める場として、各地で開催されていますが、今回の一志ブロック歩こう会事業も参加者に健康と達成感を与えると共に地域との交流、人と人との絆を確認した歩こう会であったと思います。

最後に今回の名松線に乗っての歩こう会を企画・運営に尽力された会長さん、美杉地区のスポーツ推進委員の皆様に感謝するとともに、次回の歩こう会を期待される参加者の声も多くあったことを申し添えて私の歩こう会参加雑感とさせていただきます。

新・スポーツ推進委員
紹介コーナー

津ブロック

高茶屋地区
伊　藤　勇　希

400文字

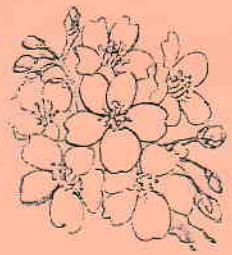
今年度より津市スポーツ推進委員の委嘱を受けました伊藤です。委員となった当初、何をするのか全く判らず不安な気持ちでした。しかし、三重県が主催する新任研修や津地区で開催される会議やニュースポーツの実技研修に参加する中で、少しづつではありますが、その役割や重要性を認識する事ができました。私の地元、高茶屋地区では体育振興会の活動が、スポーツ推進委員としての活動となり、球技大会（ソフトボール）と地区民運動会の計画・運営がその主な役割となっています。人々が運動を通じてコミュニケーションを図り、楽しんでいる姿を見た時、大変やりがいを感じました。スポーツ推進委員の目的である「ニュースポーツの普及、その指導及び助言」にはまだまだ至っておりませんが、微力ながら地域のスポーツ発展に貢献できるように努力していきたいと思います。

安芸ブロック

美里地区
中　山　　孝

推進委員も今年で６年目に入りますが任命された一期目はあまり参加する事が出来ずあっという間に２年目が過ぎてしまいました。二期目に入りニュースポーツ、グラウンド・ゴルフなど参加させていただく事によりスポーツ少年団以外（ソフトボール）での経験ができ視野が広がることができました。　又、マラソン大会、経ヶ峰ハイキング等運営をお手伝いする立場になって、裏でたくさんの方々の協力が無ければ成り立たないと痛感しました。

今後も、地域の方々に参加して良かったと思っていただけるよう努めて参りたいと思います。

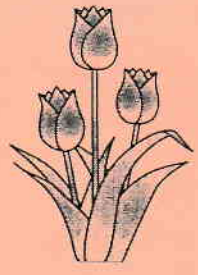


久居ブロック

栗葉地区
谷　　博

スポーツ推進委員として地域活動に参加させて頂くことになり一年が経とうとしています。事前にホームページを拝見し，活動について少し知識を得たつもりでしたが、実際の活動になると判らない事ばかりで右往左往の一年でした。
しかし先輩の方の助けもあり、何とか役目を務められたのかと思います。自分自身体を動かす事が好きで普段からジョギングをしたりマラソン大会に出たりしています。参加する側と運営する側の視点を持つことで推進委員の活動にプラスになるのではないかと思っています。

次年度は、今年以上に力になれるよう頑張って参りますので、宜しくお願いします。



一志ブロック

昨年４月から津市スポーツ推進委員に任命されました。以前からスポーツ少年団の指導や地元の体育振興会のスタッフとして、スポーツ振興に携わってきました。私が「発育発達や体幹トレーニング」「コーディネーショントレーニング」など、何度か講習会に参加したことがあって、それらのメソッドや理論を中心に活動してきました。肩書きもなかったため、まずは参加者に楽しんでもらえるようにそして、自由な発想でそれらを広めることに主眼を置いて活動してきました。

これからはスポーツ推進委員としての責任がでてくるため、今までのような自由な活動はできなくなると思います。しかし、それ以上に推進委員として研修会参加への機会が増え、他の推進委員から助言もいただける環境となり、より自分を高めていけるのではないかと考えています。特に今後は「解剖学」や「運動生理学」について知識を深め、自分自身の引き出しを増やすとともに、怪我をせず身体機能の保持増進できるスポーツ環境づくりに寄与していきたいと考えています。新任スポーツ推進委員として、何もわからない事ばかりで、家庭の事情や地元の関係で行事に参加できない事も多々あると思いますが、諸先輩方に追いつけるよう頑張っていきます。

平成28年度 三重県スポーツ推進委員研修会兼
第57回 三重県スポーツ推進委員研究大会に参加して

津ブロック　上村　健治

県内のスポーツ推進委員が一堂に会し、地域に於けるスポーツの推進について研修を行い、スポーツ推進委員の資質の向上及び会員相互の親睦を図る事を目的に実施している三重県スポーツ推進委員研修会兼三重県スポーツ推進研究大会が、本年度は伊賀市「上野フレックスホテル」において、県内各市町村の推進委員等２８０名を越える参加のもと平成２８年１２月１０日に開催されました。津市からは３８名のスポーツ推進委員及び事務局職員が参加し、当日の朝、市内の２カ所から会場の伊賀市へ出発しました。

大会は１０時３０分に開会し開会式の「歓迎のことば」では、岡本伊賀市長から開会時に降っていた雨になぞらえて、伊賀市出身の松尾芭蕉の「しぐれ」の俳句を交え挨拶をいただきました。開会式後の表彰式での「スポーツ推進委員功労者表彰」では、永年の生涯スポーツの普及・振興が認められた県内の２４名のスポーツ推進委員が表彰され、津市スポーツ推進委員会からは４名の委員が受賞しました。

講演では伊賀ＦＣくノ一監督の野田朱美氏から「世界のスポーツ文化と地域スポーツ」と題し、これまでの日本代表、日本サッカー協会の役員の経験をもとに、伊賀ＦＣくノーチームの古豪復活の決意とともに、スポーツ文化を地域に根づかせ、皆さんと一緒に未来を創りたいとの講義をいただきました。

実技研修では、「忍にん体操」を伊賀市スポーツ推進委員協議会副会長の竹内文子氏から、伊賀忍者発祥の地である地域の特性を活かした「忍者の動きと精神を取り入れた独自の体操」として実技指導をしていただきました。体操には伊賀ＦＣくノーマスコットキャラクターの「くのんちゃん」も参加し，参加者全員で少し難しいこの体操の振り付けを教えていただき、何度も曲に合わせて体を動かし、汗を拭きながら大変有意義な大会は終了しました。

最後にこの大会に際し、スムーズな運営をいただきました大会関係者のみなさま、のぼりや昼食のお弁当の包み紙で歓迎をいただきました伊賀市のスポーツ推進委員の皆さん、バスでの送迎や現地での段取りをしていただいた津市の職員の皆さんに心から感謝を申し上げます。

☆受賞おめでとうございます☆

第６４回東海四県スポーツ推進委員研究協議会（平成２９年２月３日～２月４日：伊勢、志摩市）、第５７回三重県スポーツ推進委員研究大会（平成２８年１２月１０日）の席上にて、津市スポーツ推進委員として活躍されている下記の方々が、長年のスポーツ推進委員として、住民のスポーツの実技指導・助言などにより生涯スポーツの普及・振興に貢献されている功績が認められ受賞されました。おめでとうございます！今後のますますのご活躍をお祈りいたします。

【東海四県スポーツ推進委員功労者表彰】

☆ 平成２８年度　東海４県スポーツ推進委員功労者表彰 ☆

天　野　正　敏　さん（久居ブロック）

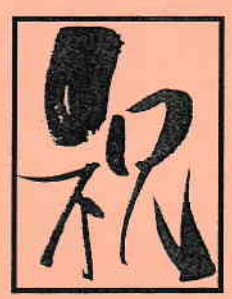
古　市　和　也　さん（安芸ブロック）

【中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰】

☆ 平成２８年度中ブロックスポーツ推進委員功労者表彰☆

大河内　　充　　さん（安芸ブロック）

藤　岡　三枝子　さん（一志ブロック）



【三重県スポーツ推進委員功労者表彰】

☆ 平成２８年度三重県スポーツ推進委員功労者表彰 ☆

上　村　健　治　さん（津ブロック）

中　川　浩　雄　さん（津ブロック）

中　谷　　清　　さん（津ブロック）

渡　辺　和　宏　さん（津ブロック）

☆★☆ 編集後記 ☆★☆

「ヘルスバレーボール」・・・

第１５号で報告されている「ヘルスバレーボール」の紹介を兼ねた体験競技が平成２８年１１月２６日の市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルにて市民の皆様に初めてデモ競技及び体験をしてもらいました。「ヘルスバレーボールて何んだろう？」と興味津々でした。由来は、１９９５年頃千葉県流山市で考案されたニュースポーツです。使用する「ヘルスボール」、本来、ストレッチ体操用のボールですが、多目的なスポーツ用具として使用することができます。形状は楕円形で直径９０ｃｍ、短径５０ｃｍ、空気で膨らませたビニールボールを布で覆っています。ラグビーボールのようなこのボールの形状が予測不能な動きをし、本来のバレーボールとは一味違った投げる・受ける・打つのイレギュラー体験ができ、誰でも気軽に参加できるスポーツと考えます。津市スポーツ推進委員会としても新たに「ヘルスバレーボール」を採用することになり、ボール（８個）を準備しデモ＆体験競技を通して市民に普及をし、津市のニュー・スポーツの新種目としてＰＲし活発に楽しんでいただきたいと願っています。　(by batayan)

●津市スポーツ推進委員会　事務局●　TEL:059-229-3254　FAX:059-229-3247

〒514-0056　津市北河路町19-1　メッセウイング・みえ　２階

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★
http://tsu-sposui.com/

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合
http://www.zentaishi.com/